

平成20年度 地域分権

# 事業の評価書

伏尾台コミュニティ推進協議会

21年7月 日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 伏見区コミュニティ推進協議会  
代表者名 倉田 晃



### 記

事業の名称	安全パトロール実施事業
事業実施前の状況	市の青色パトロールやパトカーが巡回していたが、回数・時間ともに少なかった。実施直前には数ヶ月で5~6件と空き巣が多発していた。
事業実施後の状況	これまでのパトロールに加え、小学校の登校日に、一回一時間、一日4回巡回した。事業実施後空き巣が減った。
事業の効果	空き巣対策などの防犯への効果ははかれないし、この安全パトロールだけでは難しいが、パトロール隊員を中心に、地域住民の結びつきが強まり、安全への意識が高まるという効果があった。また、登下校時の声かけ・あいさつにより子供たちに安心感を与えられたと考える。
今後の課題等	継続すること。隊員数の確保と運営方法の簡素化が課題である。

2/年 7月 日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 伏見区コミュニティ推進協議会  
代表者名 倉田晃



### 記

事業の名称	防災備品整備事業
事業実施前の状況	小学校に災害時に必要な備品があったが、緊急時には不便で品揃えも不十分なものだった。
事業実施後の状況	地域内3箇所に設置することにより、緊急時にすぐに使用できる体制が整った。
事業の効果	実際に災害が発生していないのではかれないが、身近に充実した備品が整備されたことで安心感が得られた。
今後の課題等	管理の問題、定期的に使用可能かなど備品のチェックが必要。また、倉庫の場所やどのような備品が整備されているか、地域住民に周知する必要がある。

2/年7月 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 伏見台コミュニティ推進協議会  
代表者名 倉田晃



記

事業の名称	地域掲示板設置事業
事業実施前の状況	各バス停付近に掲示板があったが、地域の中心である伏見台センターバス停にはなかった。
事業実施後の状況	比較的人通りの多い、目立つ場所に設置され、様々な掲示物が掲示されている。
事業の効果	効果ははかれないが、比較的人通りの多い、目立つ場所に設置されたことにより、掲示物がより多くの人の目にふれることになったと考える。
今後の課題等	現在、地区福祉委員会へお願いしている、維持管理が課題である。

2/年 7月 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 伏見区コミュニティ推進協議会  
代表者名 倉田晃




記

事業の名称	AED配置事業
事業実施前の状況	学校には設置されていた。
事業実施後の状況	地域内唯一のスーパーであるコープと阪急バスの営業所に設置することで、緊急時に使用しやすくなった。
事業の効果	今のところ一度も使用されていないが、1分1秒をあらそう事態に使用されるため、学校以外にも、より身近に設置されたことで安心感が得られた。
今後の課題等	定期的な点検。また、設置場所や使用方法を地域住民に周知する必要がある。

21年7月 日

事業の評価書

池田市長 様

協議会名 伏尾台ユニ=テ推進協議会  
代表者名 倉田晃 

記

事業の名称	緑化事業
事業実施前の状況	緑はあるが、桜がなかった。
事業実施後の状況	まだ小さく花も目立たないが、目立つ場所に植えられたので将来が楽しみ。
事業の効果	まだ咲いていないので何とも言えないが、成長すれば、伏尾台の道を上がった目立つ場所に植えられているので、目立って地域住民や伏尾台を訪れた人のこころを和ませてくれる期待する。
今後の課題等	実際はかなり先の話になるが、桜の手入れなどの予算をどうするかが課題。

21年 7月 日

## 事業の評価書

池田市長 様

協議会名 伏見区コミュニティ推進協議会  
代表者名 倉田晃



### 記

事業の名称	休憩施設設置事業
事業実施前の状況	バス停にはベンチがあるが、少し離れた福祉バスのバス停にはベンチがなかった。
事業実施後の状況	福祉バスを待つ人が腰をかけられるようになった。
事業の効果	座って待つことができ、便利になった。また、福祉バスを待っている人以外の利用も見受けられる。
今後の課題等	事業を肯定し、どうせなら屋根もほしいという要望がある一方で、50万円を超える予算が高いとの批判もあり、今後のベンチ設置は慎重に考える必要がある。